

9条かながわ大集会 2021in 横浜を開催

岸田首相、維新の松井代表、安倍元首相までが改憲大合唱をとなえるなか、11月29日の夜、関内ホール大ホールで、9条かながわ大集会 2021in 横浜「今こそ憲法でいのちと暮らしを守ろう！～新しい政権のもとでの憲法9条」を開催しました。参加者は320名でした。

「歌う9条の会バンド」と「横浜憲法劇」のパフォーマンス

緞帳が上がると同時に、「歌う9条の会バンド」の歌と演奏がはじまりました。

沖縄の思いを込めた「島人ぬ宝」、広島原爆投下の目標とされた橋からの想いを歌ったオリジナル曲「相生橋から」、憲法の価値、自由、平等、一人ひとりの尊厳を守る教育を求めるオリジナル曲「僕は僕のまま今日もいく」の3曲でした（図1）。



図1 「歌う9条の会バンド」の歌と演奏

続いて、横浜憲法劇のメンバーが、くろだゆうじさん作曲の「FOR PEACE LOVING PEOPLE OF THE WORLD～兵士の墓に花を咲かそう」、「僕は憲法」、「9条が生まれた日」、「がんばれ憲法！ファイト・ザ・憲法」の4曲を力いっぱい、歌い、演じました。



図2 「横浜憲法劇」の歌とパフォーマンス



図3 講演する岡田尚さん（本会事務局代表）

岡田尚さんの講演「ヨコハマから日本を変えるー横浜市長選の実践から」

岡田さん（九条かながわの会事務局代表、弁護士）は、約25分間、以下のように話しました（図3）。

今年8月22日に横浜市長選で山中竹春さんが圧勝した要因は、何よりもカジノ誘致反対、コロナ対策、住民自治を取り戻すという大義を掲げた選挙であったからだ。

2019年8月の林市長の裏切りのカジノ誘致表明に市民が怒り、19万3193筆（イクサは続く、イクゾ、イクゾ）もの署名を集めた住民投票を求める運動が起こった。自民党・公明党市議が臨時市議会で否決し、怒りが増した。

市長選では過去最多の7人が立候補し、そのうち5人がカジノ反対を訴えた。私たちは、山中さんを応援するために、市民組織、立憲民主党推薦、共産党、社民党、緑の党、新社会党が自主支援、さらに横浜港ハーバーリゾート協会という、幅広い陣形をつくり、選挙をたたかった。

山中さんの圧勝は、まさかの菅義偉首相を退陣表明に追い込むことになった。しかし、今後菅氏は活動を横浜にしぼって、山中さんをいじめ、市長の座から引きずり下ろすことを狙うかもしれない。

その結果、岸田政権が誕生し、総選挙では自民党は私たちが期待したほどには議席を減らさず、逆に維新が躍進した結果、改憲勢力が衆議院で3分の2はおろか、4分の3近くを占めるに至った。

今後、改憲は国会の憲法審査会という私た

ちの手の届かないところで進められようとしている。改憲阻止のため、九条の会運動をさらに大きく広げよう。

斎藤美奈子さんの講演「放置国家にサヨナラをー安倍・菅政権のコロナ対策」

斎藤美奈子さんは 60 分間、以下のように講演されました（図 4）。

安倍・菅政権のコロナ対策から見たこと

安倍政権（2020 年）のコロナ対策は、ほとんどアベノマスクしか印象残らず、緊急事態明けからはほとんど何もしないまま第 2 波が到来し、收拾できないまま退陣しました。

菅政権（20 年 10 月～21 年 8 月）は、GoTo キャンペーンと五輪開催に執念をもやしました。官房長官時代の GoTo トラベルで第 2 波を起こし、首相就任後の GoTo への東京参加で第 3 波が来て、GoTo を停止したのは 12 月 28 日からでした。年明けからは 2 度目の緊急事態宣言を余儀なくされました。

聖火リレーの開始後に第 4 波が到来して 3 度目の緊急事態宣言、7 月には 4 度目の緊急事態宣言を出しながらも、五輪は強行されました。その後、8 月には新規陽性者が過去最多になりました。パラ五輪も含めた時期は、医療崩壊に至った第 5 波と重なります。民意は、GoTo にも五輪開催にも反対でした。

8 月末までに全国で 200 人超が自宅で死亡しました。人口 1000 人当たりの医師数は、OECD の平均が 3.5 人なのに、日本は 2.4 人で、もともと医師不足でした。公立病院も保健所も統廃合されてきたのです。80 年代の中曽根行革以来の、新自由主義のツケがコロナ禍で爆発したのです。

新自由主義を進めて竹中平蔵氏は、「もともと経営が危なかった企業は救済しないということです。コロナ以前から経営がうまくいっていない企業は、今から融資を受けたところで立ち直ることは出来ません。淘汰されるべき企業を残しておく、将来的に日本経済の弱体化につながります」と言っています。

これを私なりに解説すると、「もともと命が危なかった人は救済しないということです。



図 4 講演する斎藤美奈子さん

コロナ以前から身体に基礎疾患のある人や高齢の人は、今から医療を受けたところで立ち直ることは出来ません。淘汰されるべき人を残しておく、将来的に日本経済の弱体化につながります」ということです。こんなことを許してよいのでしょうか。

私は、「ウィズコロナ東京かるた」にならって、次のようなかるたを作ってみました。【あ】アクセルもブレーキも踏めと言う総理、【い】イソジンでウイルス減ると知事は言い、【う】麗しきアベノマスクは今いずこ、【え】エビデンスじつはなかった一斉休校、【お】お父さん在宅ワークでウザがられ、です。（拍手）

衆院選挙後、岸田政権の政策はどうなる？

岸田首相は、もともとはリベラル保守の「宏池会」出身ですが、現在は、「ヘタレ」で「ケチ」になっています。

今度の選挙で、与野党がともに経済政策を大きく転換させたことをご存知でしょうか。自民党（岸田首相）も立憲民主党（枝野代表）も脱新自由主義。緊縮財政から積極財政に舵を切ったのです。田中首相が生きていたら「まるで昭和の復活だ」と言っているでしょう。日本が 25 年もデフレから脱却できていないことに加え、コロナ禍で経済の落ち込みが決定的になったためとも考えられます。そうであっても、新自由主義の緊縮財政を 25 年間続けてきたせいで、日本経済はボロボロなのです。各国の「成長率」ランキングでは、OECD 加盟国中で日本は断トツの最下位です（図 5）。賃金も、他国ではみな上がっているのに、日本だけが下がっているのです。

財政の話となると必ず出てくるのが「国の

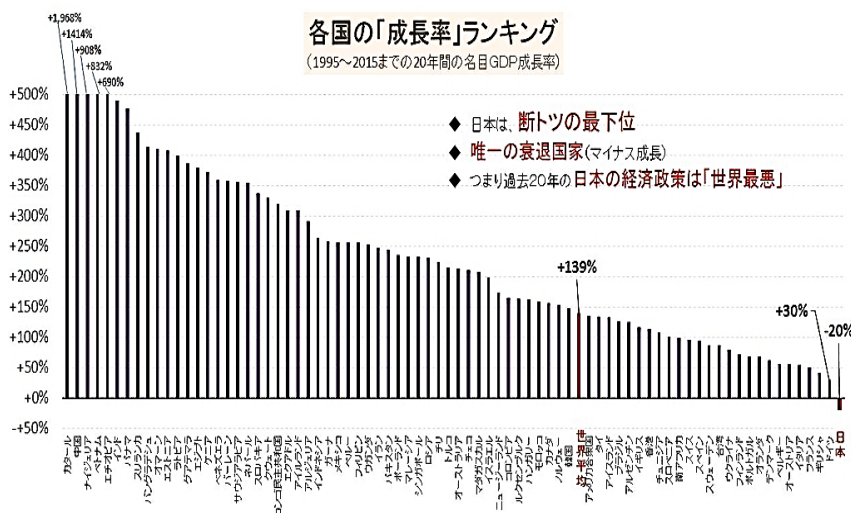


図5 各国の「成長率」ランキング

借金1000兆円超もある。このままでは国家財政が破綻する。将来の世代に借金のツケを回すのか」といった文言です。これは本当なのでしょうか。むしろ財政破綻論は「国民を救わない言い訳」にされてきたのではないのでしょうか。実際には、借金（国債の発行）で国の財政が破綻することはあり得ません。国はお金をいくらでも造ることができるからです。

コロナ禍で米国のバイデン政権も日本より先に積極財政論に舵を切りました（共和党的妨害で苦戦してはいますが）。日本でも、新自由主義（緊縮財政）にしがみついている政党は維新だけです。とはいえ各党も一枚岩とはいえず、自民党にも立憲にも新自由主義者は大勢います。また岸田政権の経済政策は「脱新自由主義」の割には中途半端です。今後はまた緊縮財政に逆戻りし「コロナ増税」に踏み切る危険性もあります。今後の経済政策を注意深く見守る必要があります。

岸田政権で改憲の動きは加速する？

戦争や大災害などの危機につけ込んで、人々が茫然自失している間に、不可能と思われた政策を実行すること「ショック・ドクトリン」といいます。

先の衆院選で与党は安定多数を確保し、岸田首相は任期中に改憲のめどをつけたいといっています。また、維新と国民民主も改憲に意欲を燃やしていることから、安倍政権下で達成できなかった改憲論議は今後、活性化する可能性があります。まさに火事場の改憲論、

「コロナ・ショック・ドクトリン」です。

自民党は2012年に改憲草案を出していますが、2018年、安倍政権下で、これに修正を加える形で4点の新改憲案を発表しました。ポイントは以下の4つです。

①自衛隊を9条に明記、②緊急事態条項の導入、③参議院の合区解消、④教育環境の整備。

③の参議院の合区解消は、どうでもいい改憲案で、43条とも矛盾し、無駄です。

④の教育環境の整備は、現行26条で十分で、無視すべきです。

問題は、①の9条改憲で、9条1項は現行のままで、2項を削除し、以下に変更するとしています。

「前条の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する。」

9条改憲は、軍事力に対する事実上の歯止めをなくし、1項を無効にするのと同じ効果を持ちます。解釈改憲後に加えて自衛隊が明記されれば「国防軍」まであと一歩となり、断固阻止しなければなりません。

②の緊急事態条項（新設）は、9条よりもこちらを優先ではないかとも思われます。

「(1)大地震その他の異常かつ大規模な災害により、国会による法律の制定を待ついとまがないと認める特別の事情があるときは、内閣は、法律で定めるところにより、国民の生命、身体及び財産を保護するため、政令を制定することができる。(2)内閣は、前項の政令を制定したときは、法律で定めるところにより、速やかに国会の承認を求めなければならない。」としています。

これが通ると国会審議を経ずに、法律に等しい「政令」を制定することができます。立法府の形骸化であり、ひいては立憲主義・民主

主義国家の崩壊につながります。また、コロナ禍で「大規模な災害」に「大規模な感染症」を加える案が取り沙汰されています。災害対策は、現行法(災害対策基本法など)で対処可能です。万一強い感染対策が必要でも、現行憲法と特措法で十分です。断固阻止です。

今こそ参照すべきは25条と13条です。25条の生存権では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」とあります。

13条の幸福追求権は、「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」です。

国は憲法に則って国民の生命と生活を守る義務があります。来年には参院選もあります。私たちの生命と生活を軽視してきた「放置国家」と決別するために、声をあげましょう。

各地九条の会からの発言

講演後、各地九条の会の皆さんが幟旗や横幕を持って登壇する前で、4つの各地九条の会から、活動の紹介、総選挙や改憲阻止への想いなどについての発言がありました(図6)。

たかつ九条の会の山本武彦さんは、会の活動の紹介とともに、高津区をふくむ神奈川13区での衆議院選挙で、立憲民主党の三村和也さんを応援したことを報告しました。

港南台9条の会の成田知子さんは、例会、ニュースの発行、駅頭スタンディングなどの会の活動とともに、根岸線沿線九条の会連絡会の集会も報告しました。

厚木市九条の会ネットワークの堤昭雄さんは、10の九条の会が集まってネットワークをつくっている、12月1日に九条の会世話人の清水雅彦さんを講師にした集会を開催することを紹介しました。

最後に、ふじさわ・九条の会の島田啓子さんは、安保違憲訴訟の公正裁判要請署名や学術会議会員任命拒否の撤回を求める神奈川県署名を集め、憲法改正ではなく県民の暮らしの支援や医療、福祉・介護従事者の応援こそ必要で国会を開いて命を守る政策を議論すべきと意見広告を出したことを報告しました。



図6 各地九条の会からの発言

主催者からの訴え

その後、再び横浜憲法劇メンバーによる「もっと平和に近づきたいから」の歌とパフォーマンスがあり、最後に、後藤仁敏事務局長が主催者を代表して挨拶しました。

後藤さんは、「総選挙の結果、改憲勢力が衆議院の4分の3近い議席を占め、岸田首相から、維新の松井代表、さらには安倍元首相までが改憲大合唱をとんでいます。今こそ、九条の会はその真価を発揮し、憲法改悪を許さない運動を広めましょう。九条の会も参加する「憲法改悪を許さない全国署名」にも取り組みましょう」と訴えました。

なお、本集会に対し、九条の会東京連絡会事務局長の島田修一さんと、前衆議院議員の畑野君枝さんから、連帯のメッセージをいただきました。本会のホームページに掲載しますので、ぜひお読みください。

最後に、本集会でご講演いただいた斎藤美奈子さん、素晴らしい歌とパフォーマンスを披露してくださった「歌う9条の会バンド」と「横浜憲法劇」の皆さん、発言いただいた4つの九条の会の皆さん、チラシやチケットの販売にご尽力くださった方々、ご参加くださったすべての皆様に厚くお礼を申し上げます。

九条かながわ No.22

発行 九条かながわの会

2021年12月1日 発行

〒221-0823 横浜市神奈川区

ニッ谷町2-9 ニッ谷コア202

電話 090-7175-1911 Fax. 045-894-1052

E-mail: article9@nifty.com

HP: <http://9kanagawa.la.coocan.jp/>